

# ～「ここすき」学びの記録～

## 2歳児は「タイムマシン」の操縦士

\*いろいろな種類のクマの絵が描かれたカードがテーブルの上に裏返しに置かれています。  
それをめくって確認していたCさんは3枚目のカードをめくった時、**ある発見をしたようです。**

1) 3枚目のカードをめくると…。



2) 「あれ、さっきのクマと同じだ！」  
**2つを見比べて確認しています。「やっぱり同じだ！」**



3) 「もっと調べてみよう！」と次のカードに手を伸ばします。  
**法則を発見する科学者のような知的な表情です。**



4) これもこれも一緒だ！



2歳前後に子どもは「**同じ／違う**」に敏感になります。複数のものごとの間に「**同じ**」を発見すること。それは、これまで経験した「**過去**」と、今生きている「**現在**」をつなぎ合わせ、まだ見ぬ「**未来**」を心に描き出し、それを**確かめたり実現したりする力を獲得した**ということです。

これまでは「**未来**」は何が起こるかわからない、言わば「一寸先は闇」の不安な世界でした。ところが今では、「さっきもこうだったから、きっとこうなるにちがいない」という見通しが得られて、その世界の中に「**未来を照らす光**」が差してきます。自分の力でその「**未来**」を見に行くこともできます。それはまるで「**タイムマシン**」の操縦士になれたような**感動**でしょう。

だからこそ、2歳児は「イヤイヤ」を言うのではないのでしょうか。2歳児が「イヤイヤ」を言うとき、それは**大人に反抗したいわけではなく、自分が見通した「未来」へ向けて「タイムマシン」を出発させた、まさにそのときに、その「進路」を大人が妨害してしまったときなのではないのでしょうか。**

2歳児は、「**未来を夢見る力**」とその未来を「**自分で実現する力**」を育てつつあるときです。その育ちを**応援できる環境を整え、自分で夢見た未来を、自分で実現できたことを共に喜ぶこと。**それさえできれば、子どもは自分で自分の**未来を切り開いていく力を大きく伸ばしていけるはず**です。